

加古川市水泳授業指導業務委託の試行実施について

1. 令和5年度実施状況について

実施形態	実施校	委託事業者（利用施設）	実施期間※1
民間施設利用型	氷丘南小学校	コナミスポーツ（加古川店）	R5. 5. 8
	陵南中学校	コナミスポーツ（東加古川店）	～R5. 7. 14
指導者派遣型※2 （拠点化）	平荘小学校	コナミスポーツ（両荘中学校）	R5. 6. 5 ～R5. 7. 14
	上荘小学校	コナミスポーツ（両荘中学校）	
	両荘中学校	コナミスポーツ（両荘中学校）	

※1 中学校は、夏休み期間中（R5. 7. 25～R5. 8. 10）に最大3日の補習日を設定。

※2 指導者派遣型は、両荘中学校プールを拠点とし、コナミスポーツのインストラクターを派遣して授業を実施。（平荘・上荘小学校は、両荘中学校までバス移動。）

2. 令和5年度実施に係るアンケート結果について

（1）実施期間

令和5年7月21日（金）～令和5年8月10日（木）

（2）対象者

上記実施校5校の児童生徒、保護者、教員

（3）回答数

児童生徒 713件（回答率42%）、保護者 525件（回答率38%）、教員 65件

※教員については、全ての教員ではなく、今年度の水泳授業に携わった教員にアンケートを実施したため、回答率は算出していない。

（4）アンケート結果の概要

約8割の児童生徒が、自身の泳力が「とても上達した」「上達した」と回答しており、泳力向上において効果があったという結果を得ることができた。また、「とても楽しかった」「楽しかった」と感じ、次年度以降もインストラクターによる指導を希望すると回答した割合が8割を超えるなど、児童生徒の満足度が高い結果となった。

児童生徒の保護者からは、児童生徒の水泳に対する姿勢が変わったと回答する意見が約半数あり、そのうち約8割が「本人が生き生きと楽しそうに授業を受けていた」「水を怖がることが少なくなった」「自ら水泳を習いたいと言うようになった」など、児童生徒の満足度の高さが反映されている内容であった。一方で、初めての校外での水泳授業に対し、施設の利用方法や移動、授業の進み方等で対応に苦労している様子や、練習量が多く疲れていたと感じる保護者の意見もあった。

教員のアンケートでは、水質検査、投薬、用具確認や清掃など、学校プール授業において教員が行う業務やその他の教科の授業への影響等を含む教員の負担について、7割を超える

教員が「とても負担が減った」「負担が減った」と回答しており、水泳授業指導業務委託の実施により全体として教員の負担軽減が図られたとの結果を得ることができた。

その反面、バスで移動を伴う実施校では、授業の2時間分を活用して水泳授業を実施するため、特に中学校においては、授業の編成において他科目の教員との授業の複雑な組替に係る調整が必要となり、「負担が増えた」「とても負担が増えた」との回答が1割あるなど、課題を残すこととなった。

※主なアンケート結果については、別紙「加古川市水泳授業指導業務委託に係る効果測定の主な結果について」のとおり

3. 次年度の取組について

今年度に試行実施した取組から新たに確認できた課題への対応、同一施設での複数校の受入れや受託事業者の拡大など、当該業務委託の拡大実施に向けた更なる検証を行うため、次年度は以下の内容を重点取組として試行実施し、その効果検証をもとに学校プールのあり方の方針を策定する。

①実施校の拡大、変更（民間施設利用型）

【R5】小学校1校、中学校1校 ⇒ 【R6】小学校6校（継続1、新規5）を想定

※R6は中学校での実施を見送る

※指導者派遣型（拠点化）は両荘みらい学園（義務教育学校）で実施予定

②インストラクターの配置基準の弾力化（民間施設利用型）

【R5】児童生徒15人につき1人 ⇒ 【R6】児童生徒20人につき1人

③バスの移動時間の弾力化

【R5】学校から施設まで15分以内 ⇒ 【R6】学校から施設まで20分以内

④授業の実施単位の変更（大規模校実施への対応）

【R5】1授業を学年単位で実施 ⇒ 【R6】1授業を学級等の単位で実施

⑤授業の実施期間の変更（民間施設利用型）

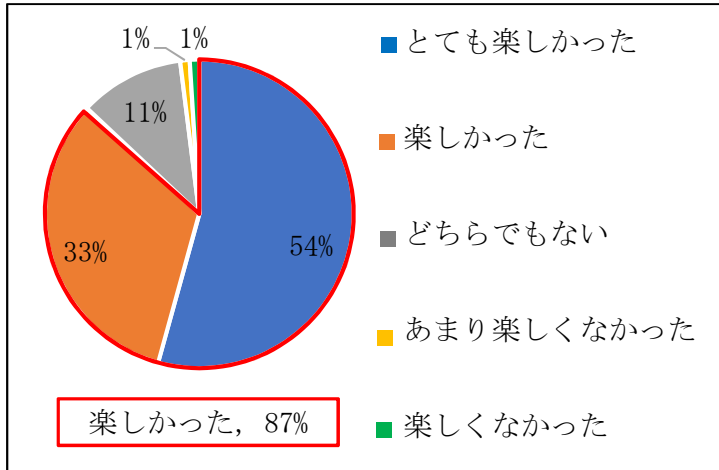
【R5】1学期に実施 ⇒ 【R6】1～2学期に実施

⑥受託事業者の拡大

【R5】1者 ⇒ 【R6】複数の事業者での実施を目指す。

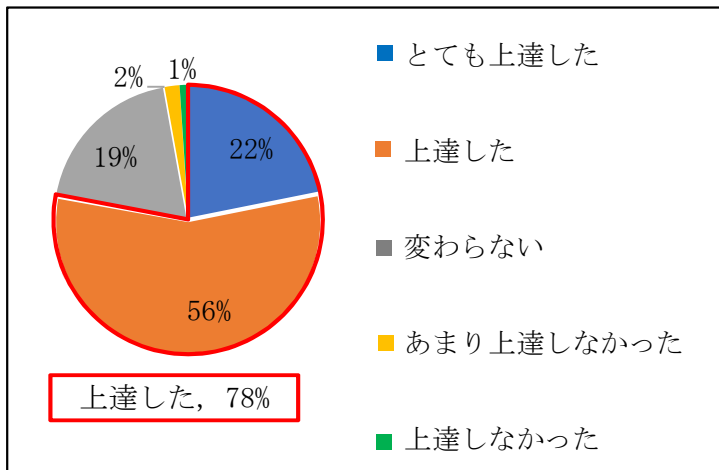
加古川市水泳授業指導業務委託に係る効果測定の結果について

(Q) 今年度の授業満足度について (児童生徒向けアンケートより)



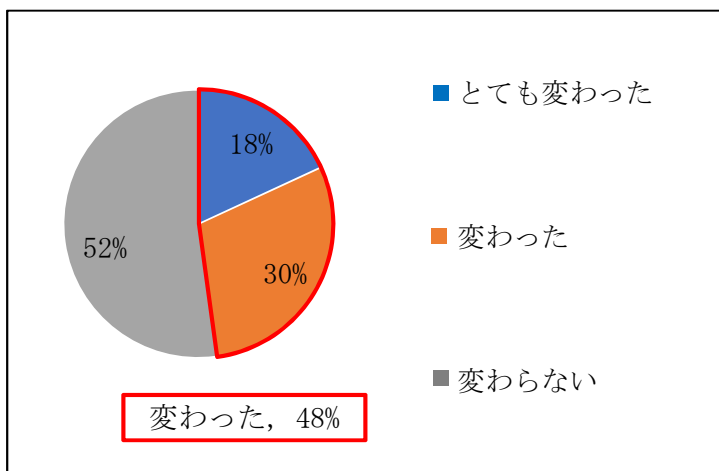
- ・約9割の児童生徒が、今年度の授業について「とても楽しかった」「楽しかった」と回答している。
- ・今年度民間委託して良かった点として「自分のレベルに合わせた練習ができた」と回答した件数が最も多く、次いで「正しい泳ぎ方を学べた」「中止することがなかった」が多かった。

(Q) 自身の泳力について (児童生徒向けアンケートより)



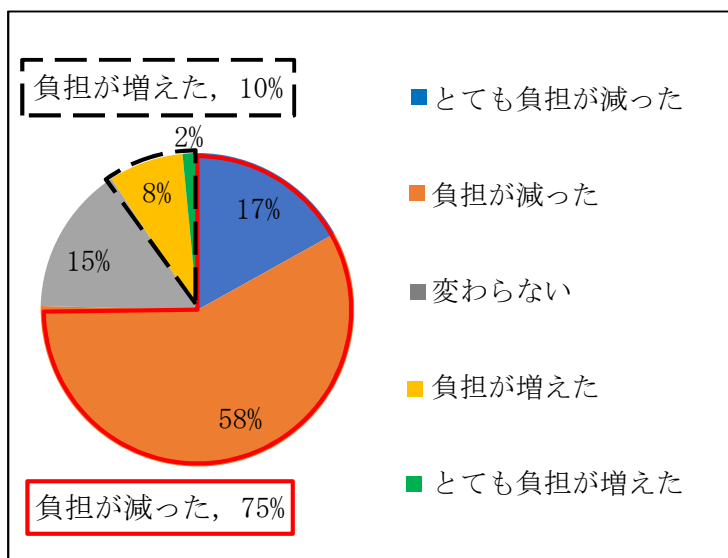
- ・今年度の水泳授業を通して自身の泳力が「とても上達した」「上達した」と回答した児童生徒は、約8割となった。
- ・「あまり上達しなかった」「上達しなかった」と回答したのは、全体の3%にとどまった。

(Q) 保護者から見た子どもの水泳に対する姿勢の変化 (保護者向けアンケートより)



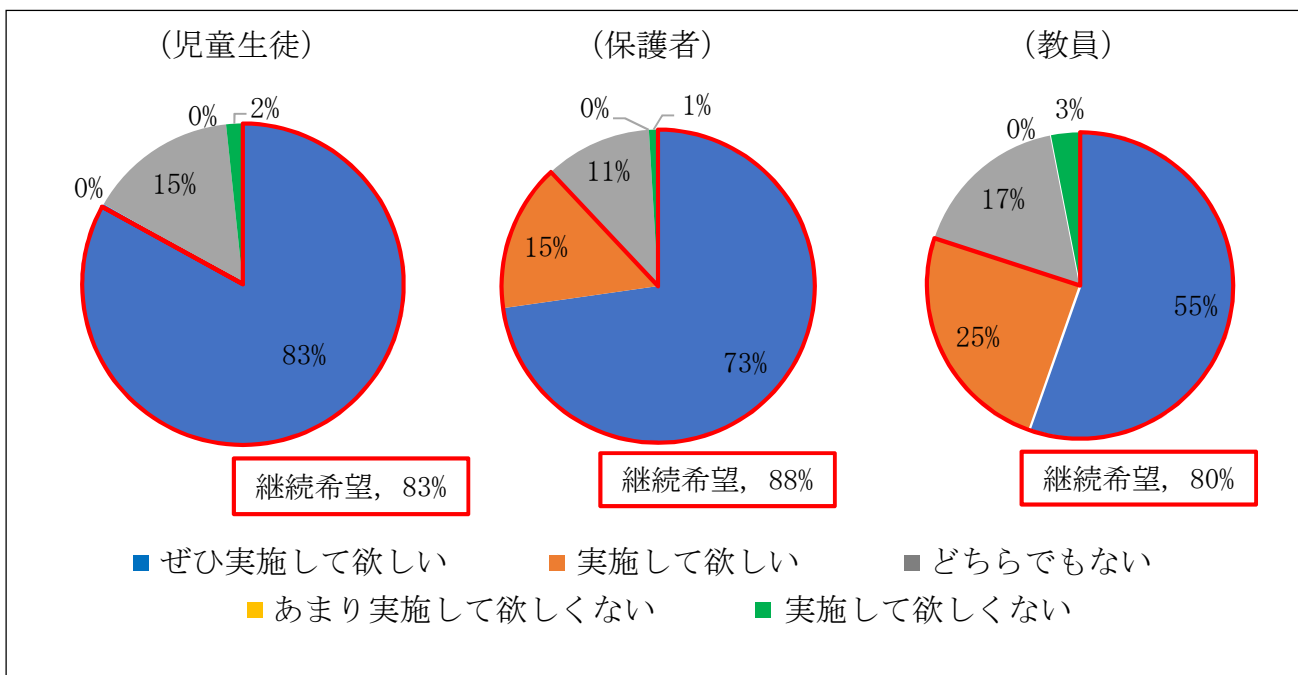
- ・約半数の保護者から、子どもの水泳に対する姿勢が変わったと回答があった。
- ・変わったと回答した保護者のうち、約8割の保護者は「水を怖がることが少なくなった。」「自分から水泳を習いたいと言うようになった。」といった、良い変化での記載内容となった。
- ・一方で、約2割の保護者からは、「授業が大変そうだった」「要領が分からず苦労していた。」という意見もあった。

(Q) 教員の負担について（教員向けアンケートより）



- ・ 7割を超える教員から水泳授業に係る負担が軽減されたと回答があった。
- ・ 軽減した負担として、水質検査等の維持管理面や指導・安全管理面での身体的・精神的負担が挙げられた。また、雨での中止や振替授業を考える必要がなくなったとの意見もあった。
- ・ 一方で、水泳授業用の時間割の組替による他科目の教員への影響や、授業評価の難しさから、逆に負担が増えたと回答した教員が1割となった。

(Q) 次年度以降の委託について



- ・ 児童生徒、保護者、教員ともに、次年度以降も民間委託を希望する回答が多い結果となった。
- ・ 「実施してほしくない」と回答した保護者からは、「学校にプールがあるので、お金をかけてまでする必要がない」や「休館日利用とのことだったので、水質管理がその日も実施されているのか不安」といった意見があった。
- ・ 「実施してほしくない」と回答した教員からは、「時間割の変更による負担が解消されないと思われるから」や「今までどおり体育科教員が見るのが一番良いと思う」といった意見があった。